

精神障害とは？

うつ病・統合失調症・双極性障害(躁うつ病)などの精神疾患によって、社会生活や日常生活に長期的な制約を受けることを精神障害と言います。発達障害、知的障害が先天的な脳機能の障害である一方、精神障害は脳や心の機能などに何かしらの変化が起こる後天的な障害です。

「気の持ちよう」「怠けているだけ」と思われがちですが、決してそうではありません。本人の心がけや周囲の正しい理解と支援があれば社会生活を送りやすくなります。



ここで取り上げる他にも、薬物依存症、アルコール依存症、高次脳機能障害、その他の精神疾患(ストレス関連障害等)などがあります。

一般的な特徴 character

- 疲れやすい
- 環境へ慣れるのに時間がかかる
- 失敗で自信を失いやすい
- 曖昧な言い方を理解しづらい

※全ての精神障害者に当てはまるわけではありません。

仕事の一例 job

製造・労務系

- ▶ ライン作業・組立・検査…
- ▶ 倉庫内ピッキング・梱包…
- ▶ 清掃・洗浄…

サービス系

- ▶ 介護補助・洗濯・配膳…
- ▶ 調理補助・盛付・食器洗浄…
- ▶ ホテル清掃・ベッドメイキング…

事務系

- ▶ PCデータ入力・集計…
- ▶ 郵便物の仕分け・発送…
- ▶ 備品管理・名刺作成…



必要な配慮 concern

仕事の内容

簡単な仕事から

本人の仕事ぶりを判断して段階的に仕事内容の幅を広げることなどを検討します。

職務を作り出す

既存の職務への配置が難しい場合、他の社員や多数の部署から対応可能と思われる作業を切り出して設定します。

作業を標準化する

マニュアルや手順書を整備し、作業の仕方や留意点を明確化します。工程表の整備で先の見通しが持ちやすくなります。

健康管理

通院時間を確保する

体調の変化に気を配る

支援機関と連携する

短時間の就労から

体調悪化のサインを知る

保健スタッフを活用する

短時間就労から始め段階的に延ばすのが有効です。一時的に短縮し体調が安定したら戻すなど柔軟に対応する企業も。

調子を崩しやすい状況やそのサイン、対応方法などを、本人や支援機関の担当者から情報収集しておきます。

産業保健師などがいる場合は、本人との面談をお願いしたり医療機関との連携のアドバイスを得ることができます。